

正算 補予

商店街活性化対策事業として
コーディネーター委託、用地等取得など

補正予算の主なもの

**商店街活性化
コーディネーター委託業務**
800万円

商店街の活性化や現状調査・分析、課題解決と持続的な発展に向けた総合的な支援をコーディネーターとするもの。

用地等取得費

580万円

茂岩本町の土地3筆を取得し、将来的に町民の生活機能の補完と充実、中心市街地での賑わいと交流を生み出すことを目的とするもの。

地籍測量

35万円

用地等取得のための現況測量および用地測量をするもの。

6月定例会あらまし

令和8年第2回定例会は、6月22日に開会しました。

1日目は、各補正予算や条例の一部改正、工事請負契約の締結、物品の取得、農業委員会委員の任命など24件の議案審議等を行い、いずれも原案どおり可決、同意等を行いました。

また、4月に両常任委員会を実施した「愛知県西尾市におけるうなぎの養殖事業について」の所管事務調査の報告を岩井明彦産業厚生常任委員長がおこないました。

2日目は、3名の議員が登壇し、「スマート農業」「国民健康保険税滞納者」「エゾ鹿対策」など、それぞれの切り口で一般質問をしたほか、意見書4件を可決するなどし、閉会しました。

各会計の補正額

	補正額	予算総額
一般会計(第1号)	7,912万円	53億8,012万円
介護保険(第1号)	▲136万円	4億400万円

	補正額	予算総額
簡易水道(第1号)	収益的支出 422万円	2億8,348万円
	資本的支出 4,980万円	3億7,520万円
公共下水道(第1号)	収益的支出 ▲205万円	2億1,052万円

※1万円未満は四捨五入しています。

2026年8月 北海道中川郡豊頃町議会発行
議会広報特別委員会編集

6月
定例会

とよころ
議会だより No.127

町有建物PCB含有 調査業務

30万円

町有建物等に含まれる可能性がある低濃度PCBを調査するもの。

町内案内看板修繕料

85万円

町内の案内看板について、最新の情報にするとともに、経年劣化により色あせたものを更新するもの。

熱中症警戒アラート 対応温度計

200万円

町内の75歳以上の高齢者世帯等へ貸与する熱中症警戒アラート対応温度計を追加購入するもの。

畑作物産地生産体制確立・ 強化緊急対策事業補助金

2,118万円

畑作物産地における労働力不足、病害虫の発生、気候変動、需要構造の変化などの課題に対応し、持続可能な生産体制の構築を支援するもの。

地域農業構造転換支援 事業補助金

4,729万円

地域の中核となる担い手が農地集積や経営発展を進めるために必要な農業機械・施設の導入を支援するもの。

部活動地域展開推進 協議会委員報酬

25万円

学校部活動の地域展開を円滑に進めるために地域の実情に応じた体制整備や方針を推進するもの。

(簡易水道事業会計)

二宮浄水場の材入替工事

4,500万円

二宮浄水場の1号ろ過池のろ過砂およびろ過砂利などを全面入替するための工事。

主な審議内容

補正予算

◎ 小笠原議員 PCB含有調査結果で対応が必要となった場合、どのようなスケジュールを想定しているのか。

◎ 総務政策課長 低濃度PCBが含まれるものについて全部調査をおこない、可能性のあるものについては年度内に処分を完了させる。

◎ 案内看板デザインの看板はどの看板を指すのか。

◎ 総務政策課長 茂岩市街地入りの大型看板3枚などを更新。

◎ 大崎議員 商店街活性化ワークショップの構成は。

◎ 産業課長 町内産業団体からのメンバーのほか、公募等により一般町民から希望する人を広く選考して組織する。

◎ 用地取得の予算金額の妥当性は。

◎ 産業課長 固定資産評価額を基準として、町の要綱に則り積算をしている。

◎ 後藤議員 部活動地域展開推進協議会の構成と目的、部活動地域移行検討協議会との違いとは。

◎ 教育課長 望ましい部活動の環境、地域における子どもたちの活動の場を確保するために、学校関係者・保護者・文化スポーツ団体関係者で構成。

◎ 地域移行検討協議会では、課題整理や方向性の検討が中心だったが、国の改革実行期間を踏まえ、地域展開推進協議会では具体的な推進を進めるもの。

◎ 大谷議員 部活動は1町村では成り立たない時代になってきているが、本町は今後どのように進めていくのか。

◎ 教育課長 近隣町村との合同や地域クラブの移行を視野に入れて、協議会で取り進めていく予定。

◎ 地域展開によって、少年団や部活動が衰退につながらないか。

◎ 教育長 一番の問題は指導者の確保と移動手段の確保。子どもの数が少なくなっている中で、今ある部活動をベースとして活動に組織するようにしていきたい。

一般質問

スマート農業の現状と今後の推進は

農業の持続的発展に必要であり
国庫補助事業を活用している

町の現状把握は

農業における、担い手不足や高齢化、経営規模の大規模化が進むなかで、スマート農業をどのように位置付けていくのか。

町内農業者における自動操縦トラクターなどの導入について、町の現状把握は。

町長 基幹的農業従事者の減少が見込まれる中、生産水準の維持および農作業の効率化に資するスマート農業は重要な施策の一つとして認識している。

補助事業以外の導入状況については把握していない。



ふじた ひろのり
藤田 博規 議員

費用負担の支援は

導入に係る費用負担軽減のため、補助制度の活用状況と町の支援策について。

町長 国庫補助事業を活用したスマート農業関連の過去5年間の実績について、GPSガイダンスが12件。今年度については、GPSガイダンスが10件、ドローンが1件導入される予定とされており、今後も国の事業展開に注視しながら事業活用の支援をして参りたい。

スマート農業とは

AI・ロボット・IoTなどの先端技術を活用して、省力化・生産性向上・高品質化を実現する新しい農業の形です。
深刻な人手不足や高齢化、技術継承といった日本の農業課題を解決する切り札として期待されています。
ロボット農機、ドローン、環境センサー、AI・データ管理などが主な活用例とされています。

町内の通信環境は

スマート農業の推進には、通信環境基盤が不可欠であり町内における通信環境の現状と課題の把握は。

町長 農地の場所によつては圏外地域があることは認識している。国においてもスマート農業活用のための基盤整備は必要不可欠とされており、自然的な地形に起因する条件不利地の中山間地域等の通信環境改善に向けて、国の動向に注視しながら努めている。

人材育成への支援体制は

人材育成や研修機会の充実導入後の相談体制について町の考えは。

町長 導入して使用するのは農業者本人になるため自己対応が原則と考えるが、必要性に応じて関係団体と検討していく。

機械の大型化や自動化による農業事故を防ぐための安全確保に向けた取り組みが重要では。

町長 関係機関を含めてしっかりと周知をして、継続的な啓発活動を行っていききたい。

実証や導入支援に対する考えは

AIを活用した生育予測や収量予測などの次世代スマート農業技術の実証や導入支援に対する町の考えは。

町長 スマート農業におけるAIの活用については、地域農業が抱えるさまざまな課題を解決するための一つの手法であり、持続可能な農業を実現するための有効かつ重要な手段と認識している。
十勝管内の自治体が一体となつて、十勝AI農業特区として各規制の特例措置を求めて取り組んでおり、十勝圏活性化推進期成会においても特区の実現のため、国に対して支援を要請することとしている。
十勝AI農業特区を活用しながら、関係機関と連携して導入にかける環境整備を進めたい。

十勝AI農業特区とは

十勝管内19市町村が国の国家戦略特別区域制度を活用して、AI・ロボット・自動運転などの先端技術を農業に導入しやすくするため、規制緩和を目指す構想。
十勝の広大な農地における、労働力不足や担い手不足、高齢化の進行、生産性向上の必要性などの課題を解決するために期待がされています。

国民健康保険税滞納者に対する相談・対応は

滞納事情を確認して丁寧な対応に努めている



いわい あきら
岩井 明 議員

紙の保険証廃止とともに短期証も廃止され、滞納者は医療機関等受診の際は、窓口で全額負担となり償還払が生じる。

国民健康保険税に滞納がある場合、滞納要因に特別な事情がないか確認することが必要と考えるが、町の相談・対応状況は。

町長 税の公平性の原則に基づいて適正に対応するよう心掛けている。納税義務者と個別相談をおこない、納付意欲はあるが経済的に納付が困難な方については、分割納付などの方法について誓約をいただいで、完納できるように計画的な納付をお願いしている。

議会のギモン？ 一般質問って何？

議員が地方公共団体の執行機関に対し、行政全般について質問して考え方や方針をたやすための制度です。

事前に通告した質問内容について、1問1答方式により、決められた発言予定時間内にて質問をおこないます。

質問は議長長の許可を得たのちに登壇して発言します。

エゾ鹿対策における金網柵の導入について

町計画の改訂を含めて事業実施を検討

増加傾向にあるエゾ鹿や相次ぐヒグマによる鳥獣害対策における金網柵の効果が高いことから、国の補助金を積極的に活用した整備事業を推進すべきでは。

町長 鳥獣害対策については町の単独事業としてワイヤーによる電気柵を中心に事業展開をしてきたが、経年劣化による断線や強風による脱線など、デメリットもあり万能とは言えないことも事実。

全国で熊の出没も相次いでいることから、安全な農作業の観点からも金網による柵については有用性が考えられる。

国の鳥獣被害防止総合対策交付金事業では、自治体の計画に取組内容が位置づけられ、取組が行われているれば、事業の採択要件を満たすことで実施することが可能となるので、今後は調査の実施に向けて検討を進めたい。

鳥獣被害に関して農業者が営農を続けていけるように、国に積

極的な働きをかけていきたい。

町長 猟友会の駆除協力や町の補助など対策をとっているが、一向に数が減っていない状況もある。最近では熊や外来種の被害もあるため農業被害が大きくなっている。皆さんの営農や生活を守るために、国や北海道に対して、しっかりと支援を継続してもらうために要望をしていきたい。



さかぐち たかし
坂口 尚示 議員

鳥獣被害
対策コーナー
(農林水産省HP)



委員会レポート

町の課題を調査・研究しています。
概要をお伝えします。

産業厚生・総務文教 両常任委員会

4 / 14



調査の詳細をまとめたレポートはQRコードからご覧になれます。

視察レポートのページはこちらから



愛知県西尾市における
うなぎの養殖事業について
「二色うなぎ漁業協同組合」
を行政視察しました。

産業厚生常任委員会（岩井明委員長）と総務文教常任委員会（大谷友則委員長）は4月14日に、産業厚生常任委員会及び総務文教常任委員会の合同委員会として、愛知県西尾市におけるうなぎの養殖事業について、所管事務調査をおこないました。



滑川市議会議場にて記念撮影



議会中継システムについての質疑、議場見学

4 / 15

滑川市議会を表敬訪問して
議会中継システムについて
行政視察をしました。

議会の動き

姉妹都市として一層の親善と友好を深めるため、4月15日に滑川市役所及び滑川市議会を表敬訪問しました。
また、滑川市議会における議会中継システムについて行政視察を行いました。ケーブルテレビを活用した本会議の生中継、定例会終了後の録画放送における導入費用やランニングコスト、議員活動への影響等について質疑をおこないました。その後、実際に議場で端末を操作する様子を見学しながら中継システムの仕組みについて説明を受けました。

条例改正

次の2議案について提案され、いずれも可決しました。

▼選挙長等の報酬手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について
国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の改正により、選挙執行経費の基準額が見直されたことによるもの。

▼豊頃町職員の給与に関する条例の一部改正について
人事院規則の改正により、災害応急作業等手当の国家公務員との均衡をはかることによるもの。

契約関係

▼工事請負契約の締結について
次の2議案について提案され、いずれも可決しました。

・幌岡第3幹線舗装工事（その2）
・湧洞地区配水管布設替工事

▼物品の取得について
一般X線撮影装置の更新について可決しました。

人事案件

▼豊頃町農業委員会委員の任命
豊頃町農業委員会委員の任期満了に伴い委員を任命するもの。

原案のとおり同意しました。
なお、任命された委員は次のとおりです。（提案順）

・谷野 和也氏（牛首別）
・安達 勝氏（礼作別）
・相澤 博美氏（農野牛）
・森川 聡氏（二宮）
・山崎 仁志氏（十井）
・永原 和也氏（北栄）
・井下 睦男氏（長節）
・日下 貴弘氏（二宮）
・影山 正志氏（統内）
・川口 亜矢子氏（北栄）
・田頭 綾子氏（湧洞）
・山田 雅江氏（茂岩末広町）
・今村 典浩氏（豊頃佐々田町）
・相澤 和幸氏（幌岡）

その他

▼繰越明許費計算書の報告
令和7年度豊頃町一般会計予算において、翌年度に繰り越した繰越明許費について報告がありました。
※繰越明許費 年度内に支出が終わらない見込みのあるものを、翌年度に繰り越して使用する。

意見書

- ① ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
- ② 地方財政の充実・強化に関する意見書
- ③ 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書
- ④ 令和8年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

①④は産業厚生常任委員会にて審議した意見書案が岩井 明（いわい あきら）産業厚生常任委員長、②③は総務文教常任委員会にて審議した意見書案が大谷 友則（おおたに とものり）総務文教常任委員長からそれぞれ提案され、いずれも原案どおり可決し、関係省庁・機関に提案されました。



提案説明する岩井 明委員長



提案説明する大谷 友則委員長

令和8年第2回臨時会

(5月13日開催)

豊頃町税条例の一部改正などが提案され、全て可決しました。

〔条例改正〕

▼豊頃町税条例の一部改正

軽自動車税の環境性能制が廃止されたことに伴い、本町の税条例を一部改正するもの。

主な改正内容は、軽自動車税種別割から軽自動車税への名称変更、防衛特別所得税の創設対応など。

▼豊頃町国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険制度における被保険者間の保険税負担の公平の確保及び中・低所得層保険税負担の軽減のため、軽減判定所得の基準額などを改正しました。

〔補正予算〕

▼専決処分の承認(令和7年度豊頃町一般会計補正予算(第13号))

歳入予算における地方譲与税などの額の確定や、道営農地整備事業負担金の精査など、歳入歳出それぞれ5,556万6,000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ72億3,598万6,000円とする専決処分を承認しました。

円とする専決処分を承認しました。

〔契約関係〕

▼工事請負契約の締結について
・二分線川災害復旧工事

豊頃町議会のあり方調査特別委員会

設置後の経過について

昨年12月に設置され、令和9年の改選期に向けた議員定数や議員報酬など、議会のあり方について調査を進めています。

これまでに、複数回の会議を開催して、議員のなり手不足など、重要課題の解決に向けた調査・議論を、十勝管内他町村議会と豊頃町議会との比較をし、前回の報酬額改定以降の物価指数の変化、新規卒卒者初任給の状況など、様々な視点から調査をおこなっています。

？議会のギモン？

特別委員会とは？

町にとり重要な課題や大きな事業について、議員が集中的に調査・話し合いを行い、必要に応じて調査や審査の結果、よき案を本会議で報告し、本議会の意思を反映させます。

議会日誌

◎今後の予定

6月9日	北海道町村議会議長会 定期総会(札幌市)	8月18日	議会広報研修会(札幌市)
7月2日	北海道町村議会議長会 主催議員研修会(札幌市)	8月19日	産業厚生常任委員会 所管事務調査(作況調査)
7月3日	南幌町子ども室内遊戯施設 施設行政視察(南幌町)	8月26日	十勝町議会議長会主催 議長研修会(足寄町)
7月16日	議会広報特別委員会 議会のあり方調査特別委員会	9月8日	議会運営委員会 第3回定例会(1日目)
7月24日	議会のあり方調査特別委員会 (一般質問ほか)	9月11日	議会運営委員会 第3回定例会(2日目)
8月22日	第2回定例会(1日目) 総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会 第2回定例会(2日目)	9月14日	総務文教常任委員会 産業厚生常任委員会 第3回定例会(2日目)
8月24日	第2回定例会(2日目) (一般質問ほか)	9月16日	第3回定例会(3日目) (一般質問ほか)

会議の詳細は 会議録で

定例会や臨時会などの会議の内容は、会議録に詳細に記録しています。
町のホームページや町図書館で閲覧することができます。

問合せ先
議会事務局
☎574-2222

会議録のページは
こちらから

